

取扱いの趣旨

酸・塩基平衡異常を伴わない糖尿病のみに対する有機モノカルボン酸（乳酸）又は有機モノカルボン酸（乳酸）（尿）の算定は、原則として認められない。

支払基金が公表している取扱いの全文

【検査】

《令和6年6月28日》

206 有機モノカルボン酸（乳酸）又は有機モノカルボン酸（乳酸）（尿）の算定について

○ 取扱い

- ① 次の傷病名のみに対するD007「13」有機モノカルボン酸（乳酸）又は有機モノカルボン酸（乳酸）（尿）の算定は、原則として認められる。
 - (1) 乳酸アシドーシス（疑い含む。）
 - (2) 代謝性アシドーシス
- ② 糖尿病のみに対するD007「13」有機モノカルボン酸（乳酸）又は有機モノカルボン酸（乳酸）（尿）の算定は、原則として認められない。

○ 取扱いを作成した根拠等

有機モノカルボン酸（乳酸）又は有機モノカルボン酸（乳酸）（尿）は、解糖系代謝経路（グルコースからエネルギーを産生する代謝経路）の最終産物で、主に骨格筋や赤血球、脳、皮膚、腸管で産生され、肝、腎で代謝される。血中の乳酸は生体の酸化還元状態を示す指標であり、乳酸が異常高値となり血液中pHが酸性に傾いた状態が乳酸アシドーシスであり、代謝性アシドーシスの一つである。

以上のことから、乳酸アシドーシス（疑い含む。）、代謝性アシドーシスに対する有機モノカルボン酸（乳酸）又は有機モノカルボン酸（乳酸）（尿）の算定は原則として認められ、酸・塩基平衡異常を伴わない糖尿病のみに対する算定は原則として認められないと判断した。

グラフの見方

1 棒グラフ（該当レセプトの審査結果）

有機モノカルボン酸（乳酸）又は有機モノカルボン酸（乳酸）（尿）を算定している目視対象レセプト1万件当たり、条件（糖尿病のみに対し算定）に該当するレセプト件数

2 折れ線グラフ

該当レセプトのうち、有機モノカルボン酸（乳酸）又は有機モノカルボン酸（乳酸）（尿）が査定・返戻となった割合

【棒グラフ凡例】 審査の結果

査定	返戻	: 取扱いどおり
請求どおり 職員等	請求どおり 審査委員	: 検証が必要

審査結果の概要

➤ 全国の査定・返戻割合 40.59%

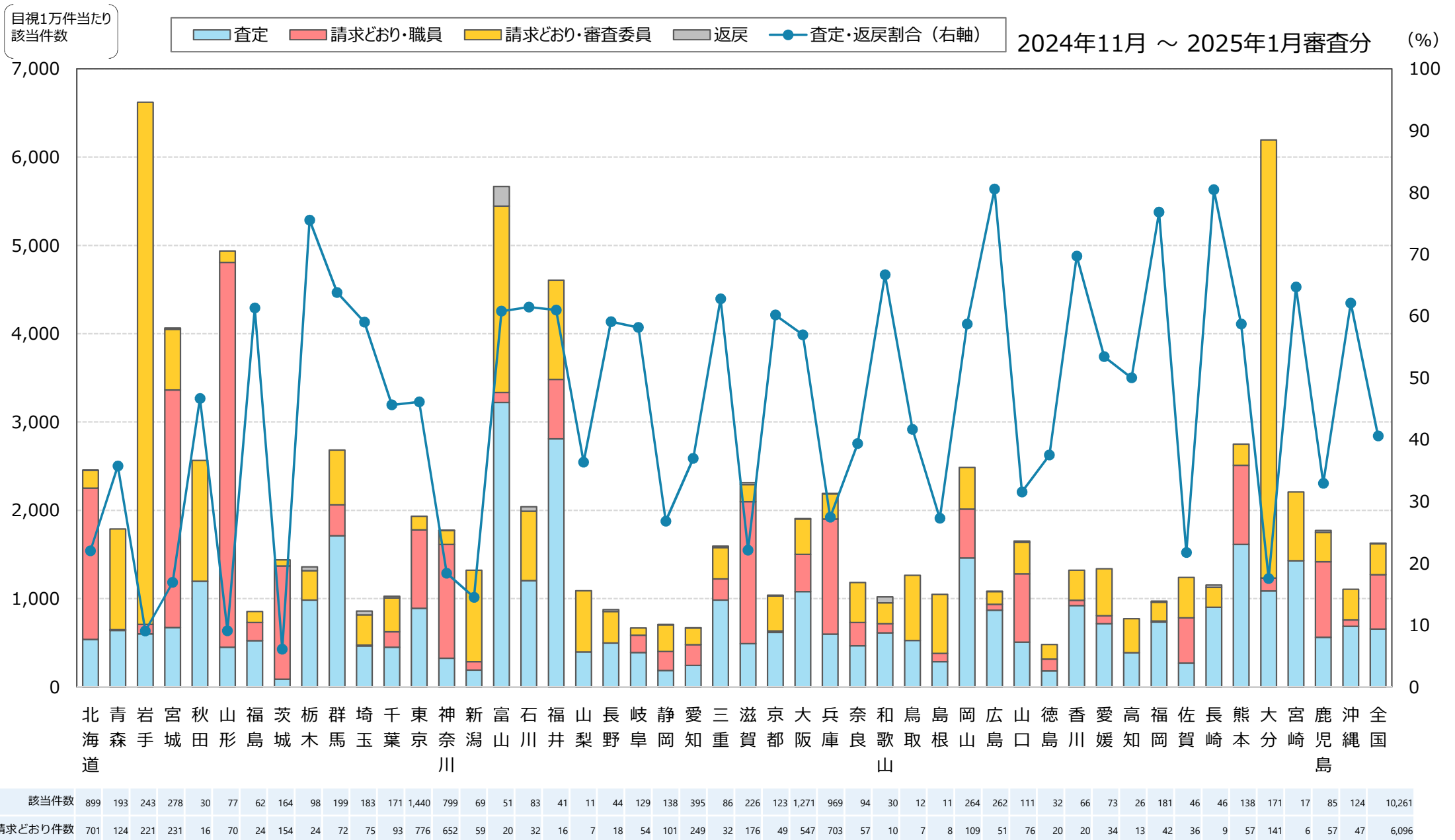
➤ 検証対象都道府県 47

検証観点	都道府県※	備考
査定・返戻割合が低い	茨城、岩手、山形、新潟、宮城、大分、神奈川、佐賀、北海道、滋賀、静岡、島根、兵庫、山口、鹿児島、青森	査定・返戻割合の低い順
請求どおり・職員	山形、宮城、北海道、滋賀、兵庫、神奈川、茨城、熊本、東京、鹿児島、山口、福井、岡山、佐賀、大阪、群馬	対象1万件当たり件数の多い順
請求どおり・審査委員	岩手、大分、富山、秋田、青森、福井、新潟、石川、宮崎、鳥取、山梨、宮城、島根、群馬、愛媛、岡山	//

※検証対象都道府県が16を超えたため、16都道府県を限度に表記している

該当件数（全国）	【条件】	10,261件
取扱いに基づく審査	査定・返戻の計	4,165件
検証を必要とする審査	請求どおり	6,096件

一般206 糖尿病に対する有機モノカルボン酸（乳酸）又は有機モノカルボン酸（乳酸）（尿）の取扱い【認めない事例】



【該当件数】糖尿病のみに対し有機モノカルボン酸（乳酸）又は有機モノカルボン酸（乳酸）（尿）を算定しているレセプト件数